

## 平成22年度 全学共通科目「北海道東部の人と自然」

### 農学部森林科学科「研究林実習Ⅲ 夏の北海道」実習の参加者募集

フィールド科学教育研究センター 吉岡 崇仁・徳地 直子  
坂野上なお  
農学研究科熱帯林環境学 神崎 護  
農学研究科土壌学 真常 仁志  
地球環境学 渡邊 哲弘

#### ●実習の目的

北海道東部・根釧地域は日本でも特有の気候を持つ。本実習は北海道研究林標茶区・白糠区を中心に行い、森林の垂直分布、亜寒帯の針広混交林、根釧内陸部の落葉広葉樹林や火山性土壌の調査、釧路～厚岸にかけて展開する海岸植生や湿原などの豊かな自然観察を通して、寒冷地域における森林・土壌環境や土地利用と産業に関する知識を習得する。

#### ●実施内容

1. 期間 : 平成22年8月29日(日)～9月5日(日)
2. 実施場所: フィールド科学教育研究センター北海道研究林  
標茶区: 〒088-2339北海道川上郡標茶町多和 TEL: 015-485-2637 FAX: 015-485-4016  
白糠区: 〒088-0322北海道白糠郡白糠町西2条北8-1-10 TEL: 01547-2-5701 FAX: 01547-9-2037
3. スケジュール:

- 8月29日(日) ガイダンスと講義「北海道の気候・植生」「森林調査と樹木識別」  
実習「白糠・標茶の樹木と識別法」
- 30日(月) 実習「白糠天然林の林分構造と樹木の識別」
- 31日(火) 実習「道東の植生と林業—海岸植生・霧多布湿原・パイロットフォレスト」  
講義「カラマツの間伐と選木」
- 9月1日(水) 実習「標茶人工林の保育と密度管理」  
講義「道東地方の火山と土壌」
- 2日(木) 実習「根釧内陸部火山灰地域の土壌観察」
- 3日(金) 実習「標茶の土壌観察」
- 4日(土) 実習「西別岳における森林の垂直分布」
- 5日(日) レポート等作成・提出後解散

\*なお、実習内容・コースは変更される場合がある。

4. 宿泊場所: 8月29日は白糠、30日～9月4日は標茶  
白糠: 白糠町立「縫別(ぬいべつ)自然の家」(01547-2-7537)  
標茶: 北海道研究林標茶区学生宿舎

#### 5. 集合

日時: 8月29日 15:00

場所: 北海道研究林白糠区(集合後に車で縫別に移動)

\*白糠へのアクセスは、①フェリー+バス(JR)、②航空機など。航空機は各種格安のものがある。

\*利用が多い便については釧路空港及び白糠駅に迎えを出すことも検討している。

#### 6. 費用: 12,000円程度

ここに含まれるのは期間中の食費等実費のみ。実習地までの交通費は各自負担のこと。

#### 7. 持ち物

保険証またはその写し、小型リュック、水筒(ペットボトル)、山歩きの靴(登山靴、運動靴等)、長袖、長ズボン、帽子、傘、カップ、防寒着(最低気温は10℃になることも)、タオル、着替え、洗面具、常備薬、虫除け、メモと筆記具等。

(その他注意事項)

- (1) 参加希望者は学生教育研究災害保険等の傷害保険に必ず加入すること。
- (2) 現地到着後、自宅など緊急時の連絡先を報告すること。
- (3) 成績評価は実習への参加状況、レポートの内容等で行う。参加するだけでは単位修得にならない可能性がある。

●応募方法: ①実習名②氏名・所属学部学科・学年③連絡先(電話番号及びメールアドレス)④現地までの交通機関と到着日時、到着場所(釧路空港、白糠駅、白糠管理棟など)を坂野上まで連絡すること。応募期間は6/14～25(金:13時〆切)。定員は平行して行われる全学共通、農学部の2つの実習を併せて20名。履修者は説明会出席者を優先し、①～④の応募要件を満たしているものの先着順とする。結果は6月中旬に各自に連絡する。

連絡先: 坂野上(農学部総合館N288) [nao\\*kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:nao*kais.kyoto-u.ac.jp) (\*を@に変えてください)、TEL: 075-753-6431